

孫の幸だより

5月号

Vol. 108

健康思考

健康についての情報誌



今月のテーマは (医療用麻薬)



在宅療養支援クリニック「かえでの風」
理事長・宮木大 先生

「緩和ケアや医療用麻薬のことは、初めてでよくわからない。なんだかちょっと怖い。って思う方もいるかもしれません。緩和ケアについて詳しい人はいますから、納得できるまで尋ね、納得してから使っていくのがいいと思います。お近くの地域包括支援センターや訪問診療クリニック、訪問看護事業所、病院内の地域医療連携室、がん相談支援センターなどへご相談ください。※プロフィールは2ページ目に掲載

緩和ケアでは、さまざまな苦痛に
対して全人的なケアが行われる
痛みがあるときは我慢しないで！

がんなどの疾患では、医療用麻薬(以下、オピオイド)を使って痛みの緩和ケアを行うことがあります。オピオイドのイメージは、「意識がぼろろ」としてしまふ、「強い薬」など怖い印象がありますが、適切に使えば非常に有用な鎮痛薬です。痛みをコントロールすることで、患者さんや周囲の方のQOL(生活の質)を向上することができます。訪問診療の場で日々、緩和ケアを行っている在宅療養支援クリニック「かえでの風」理事長・宮木大先生にお話を伺いました。

そもそも緩和ケアって？

痛みには4つの側面があり、これらの痛みを全人的にケアする

痛みというと、つい身体的なものを想像しますが、がんや診断されたときの衝撃、治療への不安、経済面での不安、今後の人生設計への心配、死への恐れなどさまざまなものがあります。これらを分類してみると「身体的苦痛」「社会的苦痛」「精神的苦痛」「スピリチュアルな苦痛」と4つの側面があり、こうした考え方を「トータルペイン」と呼びます。緩和ケアでは、医師や看護師、臨床心理士、ソーシャルワーカーなどが連携して、これら4つの領域全ての苦痛をケアしていきます。

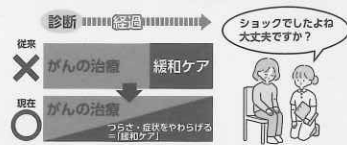


緩和ケアはいつから行うの？

初期から緩和ケアを行うことで、QOL(生活の質)が上がり、生存期間も延長

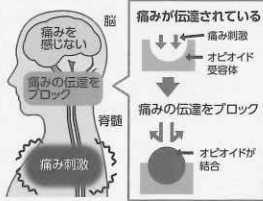
緩和ケアは、できる治療がなくなつた終末期のみに受けるものではなく、がん治療の初期段階からがん治療と併せて提供される、というのが現在の考え方です。実際にがんの診断直後から緩和ケアを行うことで、①生活の質が高まる、②うつなどの症状が和らぐ、③終末期の治療行為が減少する、④生存期間が延長する、ことがさまざまな研究からわかっています。

WHO(世界保健機関)の緩和ケアの考え方



中枢神経や末梢神経の「受け皿」に作用して鎮静効果を表す

オピオイドは、中枢神経や末梢神経などにある「オピオイド受容体」という受け皿に、麻薬であるオピオイドが入る(結合する)ことで、脳に痛みを伝える回路をブロックするお薬です。強い鎮静効果があるため、がん性疼痛や手術後の痛みなどに用いられます。受容体にはいくつかの種類がありますが、特にμ(ミュー)と呼ばれる受容体(受け皿)が最も鎮静作用に関わるとされています。



オピオイドにはどんな種類があるの？

オピオイドにはさまざまな剤形(投与の仕方)や、効き目のものがある

図表を見ていただくとおわかりのように、オピオイドにはさまざまな種類があります。

- コデイン
鎮静作用だけでなく、咳を抑える作用があります。
- トラマドール
オピオイド受容体への作用に加えて、神経障害性疼痛にも効果があります。

オピオイドの種類

薬物	経口	注射	坐剤	貼付
コデイン/塩酸	リン酸コデイン			
トラマドール	トラマドールOD トラムセツト	トラマドール		
モルヒネ	MSツウイロン MSコンチン モルヒネ緩性 パルフェン カリアン	モルヒネ 塩酸塩 アンベック	アンベック	
オピオン				
オキシコドン	オキシコドン オキシコドン	オキファスト		
オキノーム				
フェンタニル	即効性 イーフェン パルフェン アプストラル 舌下錠	フェンタニル		フェンタニルテープ フェンタニルパッチ フェンタニルパッチ
ヒドロモルフェン	ナルサス ナルラピド	ナルベイン		
メサドン	タベンタ			
	メサベイン			

● 徐放性 ● 速放性(レスキュー)

オピオイドはどのように選ぶの？

内服ができるか、呼吸苦はあるかなど主に5つの観点から選択する

前述のようにオピオイドにはさまざまな剤形や効果の違いがありますが、実際に選択する際には主に5つの観点を診ていきます。1. 内服が可能か(患者さんがどの剤形を好むか)、2. 腎機能は大丈夫か、3. 呼吸苦はあるか、4. 便秘などの副作用はどうか、5. 緊急性はあるかです。



次のページでは、さらに詳しく緩和ケアとオピオイドについて紹介します。